

四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立富洲原中学校

校長 天野 智裕

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
 - ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
 - ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- ※ これまでの「学びの一体化」の成果を活かしつつ、小中一体となって保幼もまきこみながら、地域とともに子どもを育むことを目指します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①地域に学び、地域を愛し、地域に貢献する生徒の育成

クリーン大作戦（地域清掃）

クリーン大作戦は「校区をきれいにすることで、地域を大切にする心やボランティア精神を養う。」「生徒が主体的に取り組むことにより、自己責任感を育てる。」「生徒・教師がともに校区に出て行くことで、地域を知り、つながりを深める。」ことを目的に毎年、全校生徒が参加し実施しています。本年度は、幼稚園、保育園、北部児童館・地区市民センターの清掃を行いました。この取組を地域の方は毎年楽しみにしていただいております。また、生徒たち自身もこれまでお世話になっている施設への恩返しができることをうれしく思っています。



防災訓練・避難訓練

本年度は、地区総合防災訓練（地域住民が一体となって行う総合防災訓練）に土曜授業として、全校生徒が参加しました。今年度は避難のサイレンを合図に、地域の方と一緒に、各地区の1次避難場所へ集合し、そこから2次避難場所へ移動し、その後、地区総合防災訓練会場の小学校へ移動し、「放水体験」・「煙道体験」・「防災倉庫見学」などさまざまな防災についての体験を行いました。

学校では、学期に一回以上の避難訓練を実施し、避難経路等の見直しを行っています。また1年生は防災教室を開催し、災害時等の応急処置法なども学びました。地区防災訓練の理念である「自助」「共助」「公助」の一助を担う人材となるように、この訓練を継続していきます。



②地域人材、外部講師、保護者を活用した教育活動等

職業講話・図書ボランティア・本と音楽の会

☆職業体験（キャリア教育）

地元で活躍する先輩方に職業講話をしていただきました。その仕事に就いた理由や、働く中でのやりがいや苦勞することなどのお話を聞くことで、働くことについてイメージを膨らませることができました。その講話を受けて、12月には職場体験を実施しました。引き受けていただいた地元企業のおかげで、沢山の経験を積むことができました。



☆図書館ボランティア・読書活動

毎年保護者にボランティアを募り「読書活動推進教育」に協力をしていただいています。1学期に3年生が一人一冊マイブックを選びます。その本の整備を、図書館司書と一緒にしていただきました。

また、本年度も1・2年生の国語科で、野呂様ご夫妻をお招きし「本と音楽の会」を開催しました。野呂様ご夫妻には、毎年いろいろなジャンルの絵本を読んでいただいています。大きな画面に映しされる絵本に合わせた朗読と音楽で、非常に素敵な時間を過ごすことができました。

日ごろからブックバイキングやミニ図書館コーナーなども設置し、読書活動の推進をしていきたいと思えます。



(2)「富洲原地区コミュニティスクール運営協議会（以下「三錨CS運営協議会と記述）」の取組による効果

今年度も「四日市版コミュニティスクール」の委託を受け、地域・家庭・学校が一体となった学校づくりを目指し推進してきました。授業参観や各行事を通して、授業の様子や掲示物などから生徒の取組を見ていただくことができました。地域行事の「とみすはら大運動会」では、沢山の生徒が中学生ボランティアとして参加しました。また、保育実習や職場体験・クリーン大作戦・総合的な学習の時間のSDGs研究など、様々な場面で地域施設などに出向く機会が多くあり、地域とともにある学校という認識をより一層深めることができました。

富洲原地区は、小中合同でコミュニティスクール運営協議会を実施しており、三錨CS運営協議会では、小中学校だけでなく、保育園・幼稚園・児童館などの様子などについても交流しています。会議でいただいた意見を共有することで、地域の子どもたちを地域で育てていくという視点を大切に、本年度の活動を振り返り、次年度にいかしたいと思います。

3 今後に向けて

三錨CS運営協議会において、次のようなご意見をいただきました。

◆「学び合う授業づくり」

授業は落ち着いており、ペア学習やグループ学習など仲間の意見を交わしながら学習することを大切に、その中でタブレットを取り入れるなど工夫した授業がされている。また、文化祭での総合的な学習の時間の成果報告や、環境問題についての力作と思える掲示発表がすばらしかった。SDGsについて深く関心を持っていると思える内容であった。単に調べたことをまとめて書いているのではなく、きちんと自分たちで考えたことも書いている。四日市市も力を入れている活動であり、とても素晴らしいと思う。

◆「読書活動」

昨年度に課題としてあがっていた、読書離れの傾向に歯止めをかけるために、保育園、幼稚園、小学校、中学校がともに工夫をしていることや悩みを、この運営協議会で交流することができた。これからも、本に親しむ環境づくりを継続して行ってほしい。

◆「仲間づくり・楽しい学校生活」

全体的に学校生活は落ち着いて取り組めており、また挨拶ができる子が多いと感じた。

「やわらかな環境に包まれた学校づくり」と学校づくりビジョンにあるように、校舎内の花や緑の管理や、子どもたちの作品の掲示など、先生と生徒が一体化した取組が行われている。今後も継続していつてもらえるとよいと思う。落ち着いた環境や雰囲気づくりによって、子どもたちが大切にされているという実感につながっていると思う。

とみすはらの子は、優しい子たちが多く、授業の中でもお互いがお互いを理解し、配慮している場面がみられた。

◆「学校行事・地域連携」

地域やCS委員が学校の様子を拝見することができた。また、例年実施されるクリーン大作戦では小学校、幼稚園、保育園、地区市民センター、児童館に出向き清掃活動を行ったり、保育実習や職場体験を実施したりすることで、地域の中で中学生が活動する姿を見られるのはよいと思う。

可能な限り地域においても行事を実施していくようにしていきたい。地域と学校が一体となって、子どもたちの成長を見守りたい。また、地域行事をどのように引き継いでいくかも考えていきたい。

終わりに…

今後も、四日市版コミュニティスクール推進に向けての取組を検討し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進していきます。

コミュニティスクール推進のために、保護者の方々だけでなく地域の方々にも、様々な情報を適切に発信していく必要があります。学校ホームページでの情報発信をはじめ、地域に情報発信をしていきます。

これからも、地域の人・場所を活用させていただきながら、目指す生徒像に向かって、地域とともに取り組んでいきたいと考えています。

別紙B

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立富洲原中学校

委員長 伊藤 敏彦

校長 天野 智裕

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会 (富洲原中学校)	I 校長挨拶及び委嘱状手交→郵送 II 議事→書面で確認 (1) 委員長・副委員長の互選 (2) 「学校づくりビジョン」について
6	第2回運営協議会 (富洲原小学校)	I 授業参観 (小学校) II 小中学校の現状報告 III 意見交流・情報交換
7	第3回運営協議会 (富洲原中学校)	I 授業参観 (中学校) II 小中学校の現状報告 III 意見交流・情報交換
8		
9	第4回運営協議会 (富洲原中学校)	中学校の体育祭を参観
10	第4回運営協議会 (富洲原小学校)	小学校の運動会を参観
	第5回運営協議会 (富洲原中学校)	中学校の文化祭を参観
11		
12		
1	第6回運営協議会 (富洲原小学校・中学校)	小学校・中学校にて、それぞれ授業を参観
2	第7回運営協議会 (富洲原中学校)	I 報告・協議 (1) 「教育活動に関するアンケート」等の報告 (2) 「学校関係者評価」について (3) 意見交流・情報交換
3		